

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年7月15日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 11人（内訳：当事者 1名、家族 10名 専門職 0名）

2回目 5人（内訳：当事者 2名、家族 3名、専門職 0名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、お久しぶりに参加される方も多くにぎやかな開催となりました。はじめに皆さんそれぞれ近況を報告しました。当事者のお一人は、日課のウォーキングで真っ黒に日焼けしたと笑顔で話されていました。また、入院中のご主人の面会で久しぶりに名前を呼んでもらえたと喜ばれている方や、施設入所中の奥様の面会で、なぜか言葉なく涙を流されていたと心配する旦那様…。どちらも在宅介護を頑張ってこられた方々で、今は病院や施設でのわずかな面会時間を心待ちにしている様子がうかがわれました。

5. 所感

「最近たまたま家族信託の説明を聞く機会がありました」と話されるご家族がいらっしゃり、皆さん興味津々。そこから財産管理についてお互いが知っていることを、熱心に情報交換会へ発展。これまで「まだまだ自分達には必要のない話だ…」と考えた事なかったという方から、「元気で、はっきり意思表示できる時にやるべき事もあるんですね」との感想が聞かれました。他では聞く機会の少ない有意義な情報を、カフェに参加することで当事者やご家族が知ることができる…そんな役割も担って開催しております。今回のスイーツはプチケーキと差し入れに頂いたお菓子でした。



★次回予定：2023年8月19日（土） 以上